

令和6年度 事業計画

社会福祉法人 飛翔

【基本事項】

1. 法人理念

『自分らしく輝くために』

2. 運営方針

ひとりひとりの自己実現にむけて、『四つの場づくり』を目指します

- ・つながる場 人・社会とのつながりを大切にする場
- ・みつかる場 多くを経験しその人らしさを見つけるための場
- ・ひろがる場 その人のもつ権利や可能性をひろげる場
- ・やすらぐ場 互いに認め合いゆしみや憩いを感じられる場

【法人事務局】

1 重点事項

職員教育やガバナンスの強化に力を入れ、各々がより高い専門性をもって活躍することができる環境を作っていく。

それにより利用者様に対して、一人ひとりの尊厳を守りより質の高いサービスの提供を目指していく。

長期的な計画を見直し、実現可能な中期計画の作成によりリアリティのある将来像を作る。報酬改定に伴う収支への影響に対し柔軟に対応する。

2 理事会

開催日	議題
5月25日	令和5年度事業報告と決算
10月26日	上半期報告
翌3月1日	令和7年度事業計画と予算

3 評議員会

開催日	議題
6月15日	令和5年度事業報告と決算
翌3月22日	令和7年度事業計画と予算

4 監事監査 5月15日（水曜日・AM～）予定

5 その他

① 各事業間の交流の場作りとして、一緒にできる行事・会議

てふてふ主催によるてふてふ感謝祭 ……11月9日

事業所連絡会 ……毎月第4月曜日

(各事業所の主任級職員があつまり各事業所における情報の交換と連携をはかる)

法人全体会議 ……3月27日

② 各種委員会

・権利擁護・虐待防止委員会

・身体拘束適正化委員会

・感染症対策委員会

③ BCP（事業継続計画）の作成

各事業所においてBCP（事業継続計画）の作成、及び確認の統括していく

【てふてふ】

1 重点事項

- (1) ご家族の高齢化、利用者の重度化に伴い、送迎サービスへの対応を引き続き検討し、新規利用者の確保にも繋げていく。
- (2) 養護学校からの実習を受け入れ、繋がりを作ることで次年度卒業予定の方の受け入れを図る。
- (3) 販売の機会に積極的に参加し、利用者工賃の原資の確保を図る。
- (4) 強度行動障害者への支援に対して、より専門的な手厚い支援を実施できるように職員の意識向上を図るとともに研修参加を奨励していく。

2 開所状況

- (1) 開所日…原則月曜日～金曜日（祝日・夏期休業日・年末年始休業日を除く）

※行事の日として開所…イベントには積極的に参加できるよう土曜日もしくは日曜日に希望者に対して開所していく。

年間 256 日

- (2) 開所時間…9：00～16：00

3 利用者受け入れ状況 定員…36名（今年度変更予定）

契約者…28名（令和6年1月31日現在）

4 日課

8:45	9:00	9:15	-----					12:00	13:00	-----					15:30	16:00	17:15		
スタッフ出勤	メンバー出勤	朝の会	体操	作業	休憩	作業	昼食	休憩	作業・創作活動	休憩	作業・創作活動	休憩	作業・創作活動	片付け	清掃	帰りの会	メンバー退勤	記録付け	スタッフ退勤

※作業…自主製品作成を中心とした内容

（縫製・藍染め・クッキー等）

下請けを中心とした内容

（アメニティグッズ検品・袋詰め、クリップ組立、ガス給湯器用バネセット作業等）

※創作活動…作品展クラブ・運動クラブ・調理クラブ等

5 行事予定

（別紙参照）

- ・グループ外出

6 工賃

- ・工賃規程の変更に伴い、工賃の原資の確保に努める。

①販売：てふてふ第二の週2回の販売及び外部の販売機会への積極的な参加。

②下請け作業：作業内容の見直しと効率の良い単価の作業への変更。

- ・下請け作業の新規取引先の開拓。（距離・仕事内容・単価を考慮する）

7 職員体制

強度行動障害者への支援体制の構築

強度行動障害支援者養成研修を必要に応じて順次受講させ、どの利用者にもまんべんなく対応できる支援技術と、法人の目指す目的に対しての遂行能力の向上を図る。

- (1) 管理者 : 1名 (常勤・グループホーム管理者兼務)
- (2) 主任生活支援員 : 1名 (常勤・サービス管理責任者)
- (3) 生活支援員 : 8名 (常勤3名 非常勤5名 (利用者:支援員=5:1))
- (4) 看護師 : 1名 (非常勤)
- (5) 事務職員 : 1名 (本部事務職員兼務)

※医師…嘱託医として桃山診療所医師(月1回の施設訪問)

8 職員研修等予定

- (1) 職員会議 (月/1回)
- (2) 実践会議 (年間予定表による)
- (3) 施設内研修 (年/2回)
- (4) 名障連主催による研修
- (5) 市社会福祉協議会主催による研修
- (6) 県福祉協会主催による研修等

9 実習生(養護学校高等部)受け入れ予定

- (1) 6月・11月(養護学校校外実習期間)
- (2) 7月～8月(夏休み)、12月(冬休み)、3月(春休み)

10 ボランティア受け入れ予定

- (1) 常時
- (2) てふてふ感謝祭(11月)

11 地域交流実施予定

てふてふ第二の販売、感謝祭、徳林寺花まつり、天白区福社區民のつどい、しだれ梅まつり

12 生産活動

- (1) 自主製品作り
 - ・藍染め製品・縫製製品(刺繍雑巾を含めて)・クッキー
 - ・その他
- (2) 下請(効率アップ)
 - ・輸入雑貨検品・ガス給湯器バネセット・クリップの組立等
- (3) 販売
 - ・天白区役所 毎週水曜日 10時～12時
 - ・てふてふ第二の販売 毎週火・木・金曜日 10～12時 (月間予定表による)
 - ・その他販売の機会に積極的に参加

【相談支援事業所てふてふ】

1 重点事項

- ・相談支援員2名体制とし、事業所が天白区に移転となったため、その周知に努める。
- ・職員の健康管理に努め、常に笑顔と優しさと誠実さをもって接することを意識する。
- ・4月から実施される報酬改定をについて研鑽を積み、確実な業務を行う。

2 開所状況

- (1) 開所日・・・原則月曜日～金曜日（国民の祝日、12月29日から1月3日までを除く）
- (2) 開所時間・・・8：45～17：15

※管理者と相談支援専門員が不在時の連絡は、電話の転送による連絡が行われる体制をとる。
上記の営業日、営業時間のほか、電話等により緊急時の連絡が可能な体制をとる。

3 職員の職種、員数

- (1) 管理者 1名（常勤）
- (2) 相談支援専門員 2名（常勤：2名 内、1名管理者と兼務）
- (3) 事務員 1名（常勤：本部事務員兼務）

4 主たる対象の障害の種類は、特定しないものとする。

5 通常の事業の実施地域は、名古屋市全域の区域及び長久手市、日進市、尾張旭市とする。

6 相談支援の内容

- (1) 基本相談支援
- (2) 障害者及び障害児の支援事業者等の情報提供
- (3) 訪問によるアセスメント
- (4) サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成及び変更
- (5) サービス担当者会議の開催等による専門的な意見の聴取
- (6) 訪問によるモニタリング
- (7) 地域定着相談支援

7 職員研修予定

- (1) 天白区及び名東区自立支援協議会による研修
- (2) 名障連主催による研修
- (3) 県社会福祉協議会主催による研修
- (4) 県福祉協会主催による研修等
- (5) 相談支援専門員研修
- (6) 行動規範についての事業所内研修の実施（月1回）
- (7) 虐待防止についての研修

8 利用件数…新規5名を目指す。

【てふてふホーム】

- 1 重点事項…まずは藤が丘・豊が丘を満床とすることを目標とし、高柳の居住場所の利用者に適した支援体制の構築し、快適な生活を目指していく。
 - ① 職員配置及び職務内容の見直しを行ない、より専門的な対応ができる体制作り。
 - ② 土日祝日に職員と居室の環境整備や外出、利用者宛ての書類に関する支援を行う。
 - ③ 見学・体験の受け入れを積極的に行ない、実利用に繋げていく。
 - ④ 補修の必要な部分に対して計画的な修繕を行ない、住みやすい環境を提供する。
- 2 事業所の名称及び所在地
 - 『グループホームパピヨン藤が丘』名古屋市名東区藤が丘 33 番地の 1
 - 『グループホームパピヨン豊が丘』名古屋市名東区豊が丘 2708 番地
 - 『グループホームパピヨン高柳』名古屋市名東区高柳町 603 番地
- 3 開所状況…365 日
- 4 職員の職種、員数
 - (1) 管理者 1 名 (常勤)
 - (2) サービス管理責任者 1 名 (常勤)
 - (3) 世話人 13 名 (常勤 2 名、非常勤 : 10 名)
 - (4) 生活支援員 3 名 (常勤 : うち、2 名世話人兼務 1 名サビ管兼務)
 - (5) 事務員 1 名 (常勤 : 本部事務職員兼務)
- 5 利用者受け入れ状況 … 定員 19 床 現員 14 名
 - 『グループホームパピヨン藤が丘』 定員 7 床 現員 6 名
 - 『グループホームパピヨン豊が丘』 定員 9 床 現員 8 名
 - 『グループホームパピヨン高柳』 定員 3 床 現員 0 名
- 6 実費 (一人当たり月額試算)
 - (1) 食材料費 月額 20,000 円
 - (2) 家賃 藤が丘 : 月額 25,000 円
豊が丘 : 月額 35,000 円
高 柳 : 月額 20,000 円)
 - (3) 光熱水費 月額 10,000 円
 - (4) 日用品費 月額 4,000 円
 - (5) 金銭管理 (通帳管理 3,000 円)
 - (6) その他日常生活においても通常必要となるもの
- 7 夜間体制

緊急夜間体制…管理者及びサービス管理責任者を窓口とし、医療連携による緊急対応を行う。
夜勤・宿直体制…必要時に行う。

- 8 職員研修予定
 - (1) スタッフ会議（月/1回）
 - (2) 支援員会議（月/2回）
 - (3) 市社会福祉協議会主催による研修
 - (4) 名障連主催による研修
 - (5) 県社会福祉協議会主催による研修
 - (6) 県福祉協会主催による研修等
 - (7) サービス管理責任者研修
- 9 協力医療機関…医療法人福友会福友病院
訪問看護…藤が丘・豊が丘にて月2回

【短期入所】

- 1 目標…稼働率アップを目指していく。
 - ① 短期入所利用申し込み者の面談を行い、新規利用者もどんどん受け入れていく。
 - ② 担当職員を配置する。
- 2 事業所の名称及び所在地
てふてふショートホーム：名古屋市名東区藤が丘33番地の1
- 3 開所状況…365日
- 4 職員の職種、員数（共同生活援助と共通）
 - (1) 管理者 1名（常勤）
 - (2) 世話人 12名（常勤2名、非常勤10名：調理員兼務）
 - (3) 調理員 12名（常勤2名、非常勤10名：世話人兼務）
- 5 利用者受け入れ状況 …1床
- 6 実費（一日当たり試算）
 - (1) 水光熱費・・・500円（1泊）
 - (2) 食事・・・・朝300円・昼食400円・夕食600円※例 夕食一泊一朝食→1,400円
※食事提供加算が対象の方はここから算定額を引いた額となる。
- 7 夜間体制
緊急夜間体制…管理者を窓口とする。
夜勤・宿直体制…必要時に行う。
- 8 職員研修予定
てふてふホームの職員研修予定に準ずる。
- 9 協力医療機関・・・医療法人福友会福友病院

令和6年度年間予定

月	法人	てふてふ	てふてふホーム
4	権利擁護・虐待防止委員会	徳林寺花祭り	個別面談
5	監事監査 理事会	避難訓練(洪水被害想定) 業者清掃	障害者スポーツ大会(陸上・フライングディスク)※希望者
6	評議員会	健康診断(利用者)	避難訓練(火災想定)
7	権利擁護・虐待防止委員会 機関紙発送		
8		夏季休業:13日~15日 個別支援計画・モニタリング	
9		避難訓練(地震・火災想定)) 個別面談 日帰りバス旅行	避難訓練(地震想定)
10	理事会 権利擁護・虐待防止委員会	天白区福祉区民のつどい	個別面談
11		感謝祭:第2土曜日 映画で見る福祉 わくわくフェスティバル インフルエンザ予防接種	障害者スポーツ大会(ボウリング)※希望者
12		避難訓練(出水被害想定) 年末年始休業:29日~3日	クリスマス会&忘年会
1	権利擁護・虐待防止委員会	初詣:6日 新年会	新年会
2	機関紙発送	避難訓練(火災想定) 個別支援計画・モニタリング	
3	理事会・評議員会 法人全体会議	個別面談 梅まつり	
月毎/ 週毎	第2・4木曜日 法人運営会議 第4週月曜日 事業所連絡会	第1水曜 職員会議 第2木曜 家族会会議 第3土曜 行事の日・実践会議 随 時 外部研修 随 時 グループ外出	第4金曜 スタッフ会議 第3水曜 家族会 随 時 個別外出 随 時 誕生日会 随 時 外部研修

